



平成26年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 エイジア
 代表者 代表取締役 美濃 和男
 (コード番号 2352)
 問合せ先責任者 専務取締役 中西 康治
 (TEL 03-6672-6788)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月14日に公表した平成27年3月期の第2四半期累計期間連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	480 ～495	50 ～65	50 ～65	30 ～40	15.64 ～20.85
今回修正予想(B)	487	65	66	41	21.84
増減額(B-A)	△7 ～7	0 ～15	1 ～16	1 ～11	
増減率(%)	△1.5 ～1.6	0.2 ～30.2	2.3 ～33.0	4.7 ～39.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注) 平成26年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、「(ご参考)前期第2四半期実績(平成26年3月期第2四半期)」は記載しておりません。

修正の理由

当社グループは、当連結会計年度において、業績予想をレンジで開示しております。当社は比較的大型の案件を得意としておりますが、その大型案件の受注成否が、売上・利益予想に与える影響が大きいためです。

当社グループの平成27年3月期第2四半期連結累計期間の売上高は、当初予想したレンジ(480～495百万円)のほぼ中間になる見通しです。

一方、営業利益、経常利益、四半期純利益については、当初予想したレンジ(営業利益・経常利益:50～65百万円、四半期純利益:30～40百万円)の上限値を超え、下限値より3割以上の上方水準となる見通しです。利益が予想を上回る主な要因は、社内製造開発部門の効率や生産性の向上などにより仕入・外注費を計画に対して低く抑えられていること、広告宣伝活動の創意工夫により目標成果は達成しつつ広告宣伝費を計画より低く抑えることができたことによるものです。

なお、通期の予想につきましては、現時点では不確定要素を多く含んでいるため、当初予想の売上高1,120～1,180百万円、営業利益・経常利益245～280百万円、当期純利益145～165百万円を据え置くことといたしますが、今後の業績推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

以上